

久枝地区まちづくり協議会 「チョイソコひさえだ」始動

13日の出発式に住民ら60人

ツトヨタ瀬戸内(平松龍一社長)などの運行関係者、近隣住民など約60人と停留所用の絵を製作した久枝小学校の児童らが参加した。出発式の主催者挨拶で協議会の吉岡会長は「町民の皆さんの気軽な足、使い良い足としてチョイソコを使い、動いて健康寿命を延ば

民間による定額乗り合い送迎サービス「チョイソコひさえだ」の出発式が1月13日、久枝小学校(安城寺町586-1)で開催。主催した久枝地区まちづくり協議会(吉岡隆会長)やネッ

規客が9割を占めたが、第2弾ではリピーターが3割近くに増加。第3弾でも第2弾と同様の傾向となった。県は情報メールや広告配信など楽天市場の購入情報を活用。「巣ごもり需要を逃さず効果的なターゲティングが奏功した」(デジタル戦略室)としている。また県は、これまでの2年間の「愛媛百貨店」での取り組みで「観光部門などとの施策連携や消費者向けの県産品販売モデルが一定程度確立できた」(同室)と評価。さらに今後は「BtoBに拡大していきたい」としている。



してほしい」と述べた。また平松社長は「1年半前に吉岡会長と相談し取り組み始め、今日に漕ぎつけた。このチョイソコは税金を投入せず、町民が自分のための交通手段として作り上げたもの。今後この取り組みがまちづくりのしくみとして広がればと思っている」との期待を述べた。

関係者らによるテープカットの後、東洋タクシーが運行する「チョイソコ」が出発。当日は町民が「チョイソコ」の送迎でフジ安城寺店で買い物をした。「チョイソコひさえだ」の利用会員は現在237人で、地区内の停留所300カ所で乗り降りできる。

通期利益を上方修正

フジ、今期業績予想

フジ(尾崎英雄会長・CEO)は1月8日、昨年10月1日に発表した通期業績予想のうち、利益項目での上方修正を発表した。今回発表した2021年2月期個別業績予想数値は、営業収益2980億円(前回発表予想との増減額0円)、営業利益60億円(同16億円増)、経常利益68億円(同